

# 有限会社テクノウェブ

業種	製造業	事業所所在地	岡山県岡山市	資本金	3,000千円
				従業員数	2名

	被承継者 (左)		
	住宅 勝利	81歳	※承継時
	承継者 (右)		
	高橋 和徳	43歳	※承継時

事業承継を行った時期	被承継者と承継者の関係	
2019年7月	その他の親族外	
承継前の主たる事業の内容	承継前の主たる事業の課題	
創業以来、鋼構造物工事・機械器具設置工事・設備解体工事を行っています。内容としては、①大手製造業プラントのタンク・配管等の設計・製造・設置・撤去工事、②公共工事による水門・樋門等の設計・製造・修繕・据付工事、③2Dレーザー切断機や各種加工機による金属加工・製品製造等を主体事業として行っています。	・新商品・新サービスの開発	①鋼構造物工事業者の増加と建設投資額の伸び悩み ②同業他社との差別化のための付加価値創造 ③新規人材の獲得

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の 1年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
以前から被承継者が高齢な事や、鋼構造物工事の将来的な伸び悩みなどがあり、事業承継については考えていたところ、普段からお世話になっている経営相談機関のコーディネーターから当補助金制度の提案をいただいたことがきっかけとなりました。	主体事業についての現況および展望や、改善を図れそうな点、新規事業の内容理解深掘り、主体事業と併せた取り組み方などを共有できるよう話し合いました。	承継者は、主体事業に関する知識や経験に富む人材であり、普段から仕事を通じたコミュニケーションで非常に良好な関係を構築出来ており、不安はありませんでした。
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	従来からの取引先・仕入先・金融機関・協力会社等への代表者交代挨拶と併せて、承継者となつた取引先や協力会社にも挨拶回りを行いました。	普段から仕事の付き合いがあったので、仕事内容については理解できていましたが、これからの事業発展に新たな旗振り役としての責任を感じています。

**これに一番苦労した！**

承継に関する事務的な手続きについては、色々な方たちのサポートをいただく事ができ、特に難航する事なく遂行出来ました。ただ、親族外への事業承継であったため、身近に同業種・同規模の参考例が見当たらず、普通であればすんなり済む事でも手間がかかってしまった場面もありました。事業承継を行うことは新たなスタートでもあり、本当の苦労はこれから多く経験するものであると考えています。

事業承継について相談したこと	
相談した機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
その他	当補助金制度の提案から採択までのフォロー、新規事業計画および経営革新計画の策定、ビジネスマッチング。
いつから相談？	
承継実行の 1年前	
相談のきっかけ	
以前から取引や付き合いがあった	

## 経営革新等に係る取組の標題

### 鋼構造物工事業のノウハウを生かした看板等製作事業の実施

経営革新等に係る取組の内容	新役務の開発又は提供
---------------	------------

- 当社の主体事業である設計・製造・設置工事のノウハウや技術を活用し、看板広告物の企画・製作・施工に加えて撤去までをワンストップで行う看板等製作事業を展開することで、新たな売上収益の柱の構築を目指す。
- 分業が多い既存広告業者と比較して、短納期・低価格・高品質な看板広告物の提供を実現することで、他社との差別化はもちろん顧客のニーズにも細やかな対応が可能となる。そのため、インクジェットプリンターとラミネーターを導入して看板制作の効率化とともに看板自体の耐久性、対候性の向上を図る。
- 当社所在地エリアの国道・県道沿いのロードサイド小売店向け大型看板や中小規模小売業者・サービス事業者向け中型看板、土木・建設関連事業者向けの工事標示板(工事看板)等の制作・設置・撤去等に加えて、関連する事業者の事業場内標示物やポスター、小売店や小規模事業者等の店内用ポスターやPOP等の作成にも取組むことで収益拡大を目指す。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員は地域内からの採用であり、各人に発生する急な事情による休暇等には優先的に対応し、長く安定して働きやすい職場環境の提供に努めています。</li> <li>・加工品の主軸となる鋼材や部品などの仕入れは、当社所在の岡山市内業者から100%の構成となっています。</li> <li>・当新規事業を近隣事業者へアプローチすることで、地域の商業施設はより機動的に販売促進を行えることに繋がり、広告デザインは設置地域のイメージにも繋がり得る重要なファクターとなり、地域の賑わいの活性化に貢献できるものと考えます。</li> </ul>	<p>■ 設備費</p> <p>経費の主な使い道</p> <p>設備費（インクジェットプリンター、ラミネーター購入費）</p>

認定経営革新等支援機関の名称：永見隆久税理士事務所			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施
行政機関・金融機関への各種変更手続き、屋外広告業の申請手続き、販路開拓支援			

今後に向けて～次の目標	
2019年から2022年に向けて	当事業は売上総利益率が比較的良く、ここから当社全体の利益率体質を高めていき、まずは前期の売上総利益率に対して4%アップを目指します。併せて、事業活動による雇用の維持・創出や地域経済の活性化など、様々な波及効果を生み出し貢献できる企業へと成長していきたいと考えます。
売上総利益	20 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
この年齢になるまで経営に携われた事、良い従業員に恵まれた事、そして信頼できる後継者が承継してくれた事に感謝しております。情勢がめまぐるしく変化する時勢において、過去の成功体験に囚われない挑戦者(承継者)を選定・育成していくのは時間や労力を必要としますが、周りの協力も仰ぎながら着実に承継に取り組んで行く事が重要であると思います。	承継前の不安事が払拭できたわけではなく、これからもじっくりと取り組んでいこうと考えています。また、スタッフや関係者などから教わりながら成長する部分も沢山あると思います。この補助金制度の採択を得ることで、新しい事業発展の可能性に繋がると考えますので、承継を事業発展の好機と捉えて前向きに取り組んでいただければと思います。